

広域たごより

発行：渋川地区広域市町村圏振興整備組合 総務課
構成市町村：渋川市・吉岡町・榛東村

くつろぎと出会いの圏域

コスモスガーデン・渋川広域圏

vol. **64**

2007年6月15日



児童が清掃センターなどを見学

毎年、渋川広域圏内の全小学校が社会科授業の一環として、清掃センターの見学を実施しています。

5月15日には、渋川市立長尾小学校の4年生53人が清掃センターへ見学に訪れました。当日は、2班に分かれて清掃センター及びリサイクルセンターの作業現場を見ながら、職員の説明を聞いたりして、ごみのなかに資源となるものがたくさんあり、ごみ減量化につながるリサイクル処理の大切さを認識していました。



清掃センターからの お知らせ

●ごみの分別と粗大ごみについて

渋川広域圏内の市町村では、ごみを可燃ごみと不燃ごみ、リサイクルごみの3種類に分別していますが、家具類や廃家電品（家電リサイクル対象物は除く）など袋に入らない大型ごみは、粗大ごみとして別収集しています。また、粗大ごみも機械で処理できる上限を次のとおり定めていますが、柱など建物に属する部分は、火災により発生したもののみ受入れしています。

粗大ごみの受入制限

可燃性粗大ごみ

タンス等箱形のもの(大きめの金具を取る)
 巾 《1.5m》以下
 奥行き 《0.6m》以下
 高さ 《3.0m》以下

不燃性粗大ごみ

巾 《1.2m》以下
 奥行き 《1.2m》以下
 高さ 《2.0m》以下

※受入れできないもの

- ・上記の大きさには入るものの、肉厚の金属、ワイヤーなど硬い鉄や、ガス、油、薬品などが入った容器
- ・タイヤ、バッテリー、コンクリート塊等

●火災ごみの搬入条件について

渋川広域圏内の住居であることが条件で、消防署等の罹災証明書の提示が必要となります。また、店舗併用型住居の火災ごみも受入れます。なお、搬入する場合は、必ず清掃センターに連絡してください。

粗大ごみ等を搬入するときは、以上のことに注意をお願いします。

●問い合わせ先 清掃センター ☎0279-23-0460

受付からのお願い

直接ごみを持ち込みされる場合は、お住まいの地域確認のため
 運転免許証等の提示をお願いします。

広域圏内消防団の 新任及び幹部団員教養を実施

群馬県消防協会渋川支部では、渋川広域圏内の消防団に入団した新任団員に、消防団員として必要な知識や訓練礼式及び消防ホースなどの資機材取り扱い等、基本的な教養訓練を4月15日に実施しました。

また、幹部団員（正副分団長）及びラツパ隊に關しても部隊訓練の指揮要領やラツパ吹奏訓練を5月13日に実施しました。教養等の指導については、渋川広域消防職員が行いました。

◀ 新任団員教養



▶ 幹部団員教養



平成19年度渋川地区広域市町村圏振興整備組合 消防職員採用試験のお知らせ

渋川広域消防本部では、平成19年度消防職員採用試験を次のとおり予定しています。
なお、受験資格、試験日程、試験方法などの詳細につきましては、組合公式ホームページ (<http://www.sknet.or.jp/>) などで、お知らせします。

◆ 募集人員

若干名

◆ 申込期間（予定）

平成19年8月初旬から

◆ 試験日程（予定）

第1次試験 平成19年9月上旬

第2次試験 平成19年10月中旬（健康診断）
10月下旬（面接）

◆ 採用時期

平成20年4月1日

● 問い合わせ先

渋川地区広域市町村圏振興整備組合

消防本部 総務課 ☎0279-25-4191（直通）

事務局 総務課 ☎0279-60-5200（直通）



消防職員意見発表会

第30回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会が4月25日に前橋市で開催されました。この意見発表会は消防長会関東支部（1都9県で構成）の各都県の代表者が出場するもので、群馬県の消防職員意見発表会で最優秀賞となった消防署北分署の都丸勇基消防士長が群馬県の代表として出場しました。都丸士長は、応急手当の普及啓発活動について自らの体験談を基に応急手当の大切さを発表し、その内容及び発表力を高く評価され優秀賞という成績を収めました。



渋川広域消防本部では、救急業務の高度化に伴い、高規格救急自動車を本署（渋川市渋川）に配置しました。

今回の配置で、渋川広域消防本部管内に配置されている救急自動車全6台中、高規格救急自動車は5台目となりました。

配車式で消防長は、新しい車両を配置したことに伴い、交通事故等には十分注意し、迅速な対応はもとより質の高い救急業務を行い、住民の安心と安全のために業務に励んでもらいたいと訓辞を述べました。



▲配車式



▼救急2号車



平成18年中の火災及び救急件数

火災件数	68件
	(前年比 8件減)
救急件数	4,457件
	(前年比165件減)

救急2号車（高規格救急自動車）の更新

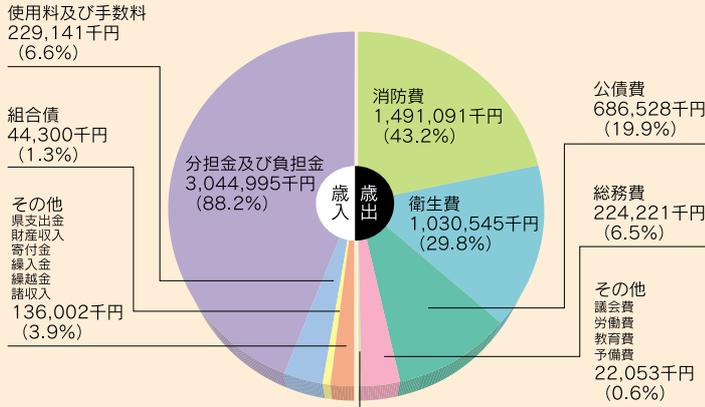
組合の財政事情

平成19年度当初予算

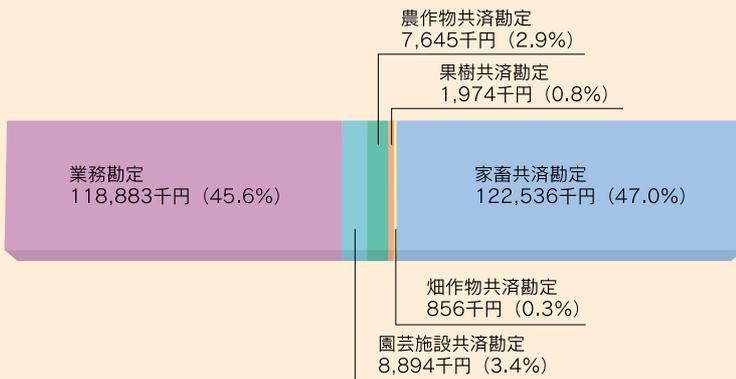
一般会計予算額は34億5,443万8千円で、前年度比較では、1億4,743万3千円の減額となりました。

農業共済事業特別会計予算額は2億6,078万8千円で、前年度比較では、880万1千円の減額となりました。

平成19年度一般会計当初予算 3,454,438千円



平成19年度 農業共済事業特別会計当初予算 260,788千円



組合の借入金について

借入金の残高 2,901,725千円



平成19年3月31日現在

平成19年度主要事業

ふるさと市町村圏事業

第五次渋川地区ふるさと市町村圏計画策定事業として、圏域住民に対して意識調査のアンケートを実施します。また、市町村合併に伴い広域圏が8市町村から3市町村になったため、新たに広域観光パンフレットの作成を行い、圏域住民へのサービス向上をめざします。

救急医療事業

圏域住民の常時診療体制を確立するため、在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制及び夜間急患診療業務を引き続き実施します。

火葬場・斎場事業

圏域住民が利用しやすい施設運営を念頭におき施設の管理を行います。

ごみ処理事業

昨年度まで平日と休日になる月曜日にごみ受入を行いました。が、本年度（平成19年4月）から、すべての祝祭日（年末年始及び土・日曜日を除く）もごみ受入を実施し、圏域住民へのサービス向上に努めます。また、容器包装リサイクル法に基づく、びん類及びペットボトルのリサイクルに努め、ごみ処理事業の充実を図ります。

し尿処理事業

環境に配慮した施設の適正な運営及び維持管理を行います。

消防救急事業

消防通信指令施設を活用し迅速な災害対応を行うとともに、救急業務の高度化及び出場増加に対応するため老朽化した救急自動車を更新し、計画的な救急救命士の養成を行い、救急業務の充実を図ります。

教育関係事業

圏域内の小学生が、団体宿泊体験で使用する臨海学校や広域圏プールなどの運動施設の維持管理に努めます。

農業共済事業

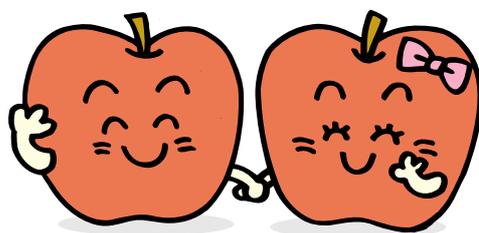
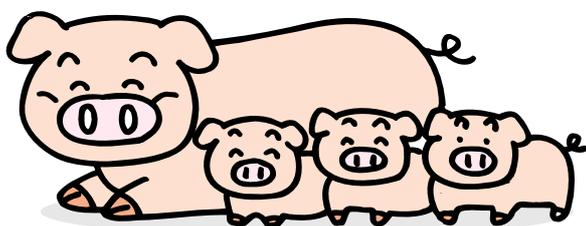
農業も厳しい状況下で推移すると予測されますが、各種の損害防止事業を実施し、農家サービスに努めながら加入促進を図ります。

農業共済事業について

農業共済事業は、昭和22年に制定された農業災害補償法により、当初は各市町村で事業を実施していましたが、事業の効率化を図るため、渋川地区広域圏内8市町村で、昭和62年4月1日に渋川地区農業共済事務組合を発足しました。

その後、農業情勢が大きく変化し、農業者数の減少、農地の転用等により、共済事業の取扱件数の減少が続いたため、さらなる事業の効率化を図るため、平成15年4月1日に渋川地区広域市町村圏振興整備組合へ統合し、現在は事務局の1つの課として、農業共済事業を実施しています。

なお、本年度の農業共済事業計画は下記のとおりです。



平成19年度農業共済事業計画

農作物共済		
水 稲	引受戸数	1,779戸
	引受面積	45,011a
	共済金額	298,308千円
麦	引受戸数	37戸
	引受面積	8,772a
	共済金額	30,763千円

家畜共済		
乳牛の雌等	引受戸数	53戸
	引受頭数	2,576頭
	共済金額	348,752千円
肉用牛等	引受戸数	41戸
	引受頭数	5,126頭
	共済金額	492,641千円
種 豚	引受戸数	21戸
	引受頭数	2,125頭
	共済金額	23,292千円
肉 豚	引受戸数	21戸
	引受頭数	18,706頭
	共済金額	103,415千円

果 樹 共 済		
りんご	引受戸数	16戸
	引受面積	637a
	共済金額	36,230千円

畑作物共済		
大 豆	引受戸数	4戸
	引受面積	591a
	共済金額	1,462千円
春蚕繭	引受戸数	41戸
	引受箱数	158箱
	共済金額	7,958千円
初秋蚕繭	引受戸数	42戸
	引受箱数	183箱
	共済金額	7,933千円
晩秋蚕繭	引受戸数	44戸
	引受箱数	156箱
	共済金額	6,967千円

園芸施設共済		
特定園芸施設	引受戸数(延)	256戸
	引受棟数	821棟
	共済金額	615,664千円

渋川地区広域圏プール開場について



●開場期間

7月21日(土)午前10時から8月26日(日)午後4時30分までです。
多数ご利用ください。

施設名	使用区分	午前	午後
		午前10時から 午後0時30分まで	午後1時から 午後4時30分まで
25mプール 幼児プール	大人	100円	100円
	小人	50円	50円

※小人とは小・中学生

●入場券は、直接プールで購入してください。

広域圏プール 渋川市川島76番地 ☎0279-24-1875(開場期間中)

臨海学校一般開放について

臨海学校は、8月8日(水)から8月17日(金)までの間で、渋川広域圏住民の方がご利用になれます。(ただし、2泊3日以内)グループ、ご家族連れでぜひご利用ください。



●場所

新潟県三島郡出雲崎町大字尼瀬1138番地2
(北陸自動車道「西山IC」から車で約30分)

●使用料金

区分	一部屋単位(14人定員)
宿泊(1泊につき) 午後1時から翌日午前10時まで	5,000円
休憩 午前9時から午後4時まで	2,500円



※食事の提供は行っていませんので、各自でご用意ください。

●申込期間

7月11日(水)から8月3日(金)までの間に、
直接申し込みしてください。
(電話による申し込みは出来ません。)
時間は午前9時30分から午後5時までです。
(土・日・祭日を除く)
※使用料を納める時は、釣り銭がいらぬよう
お願いします。

●申込先及び問い合わせ先

渋川市石原1434番地1
渋川地区広域市町村圏振興整備組合 事業課
☎0279-60-5250

広域組合事務局案内図





消防団員の募集について

消防団の前身は、江戸時代にできた町火消しと言われ、輝かしい歴史と伝統に培われ現在に至っています。消防団は、地域に密着した防災機関として郷土を災害から守るという使命感のもと地域の防災リーダーとして活動しています。

近年、生活環境の変化に伴い複雑多様化する災害、地震などによる大規模な災害も心配されている中で、消防団の活動はますます重要になっています。

消防団員の募集受付は、各市町村で随時行っています。

●問い合わせ先

渋川市 行政課 ☎0279-22-2112
 吉岡町 町民生活課 ☎0279-54-3111
 榛東村 総務課 ☎0279-54-2211



消防設備士試験のお知らせ

(財)消防試験研究センター群馬県支部では、平成19年度の消防設備士試験を次のとおり実施します。

- 日時
 - 第1回 平成19年8月19日(日)午前9時から
 - 第2回 平成20年1月20日(日)午前9時から
- 場所
 - 県立前橋工業高等学校
- 試験の種類
 - 甲種 1類～5類
 - 乙種 1類～7類
- 受験願書の受付期間
 - 第1回 平成19年7月2日(月)～7月11日(水)まで
 - 第2回 平成19年11月26日(月)～12月5日(水)まで
 - (ただし土曜日、日曜日は除く)
- 受験願書の提出先
 - (財)消防試験研究センター群馬県支部
 - 〒371-0854
 - 前橋市大渡町1丁目10番7号
 - 群馬県公社総合ビル5階 ☎027-280-6123
- 受験資格
 - 甲種は、一定の学歴又は実務経験が必要ですが、乙種については、受験資格の制限はありません。
- 受験手数料
 - 甲種 5,000円
 - 乙種 3,400円
- ◎受験願書は渋川広域消防本部予防課にあります。
- 問い合わせ先 ☎0279-25-4193(予防課)

第7回しぶかわ広域歌謡選手権 観覧のお知らせ

- とき 平成19年8月19日(日)午後1時開演
- ところ 渋川市民会館
- 入場料 無料
- 内容 予選審査合格者50組による歌謡選手権
- 問い合わせ先 渋川市民会館 ☎0279-24-2261



▲第6回参加者